

今後発生が想定される極めて規模の大きい災害時の
応援職員派遣に係るアクションプラン策定協議のための関係者会議

青森県の被害想定等について

令和8年7月8日
青森県危機管理局



青森県防災ハンドブック
公式マスコットキャラクター「おまもりス」

1. 青森県の地理的特徴、特殊性

地理的特徴

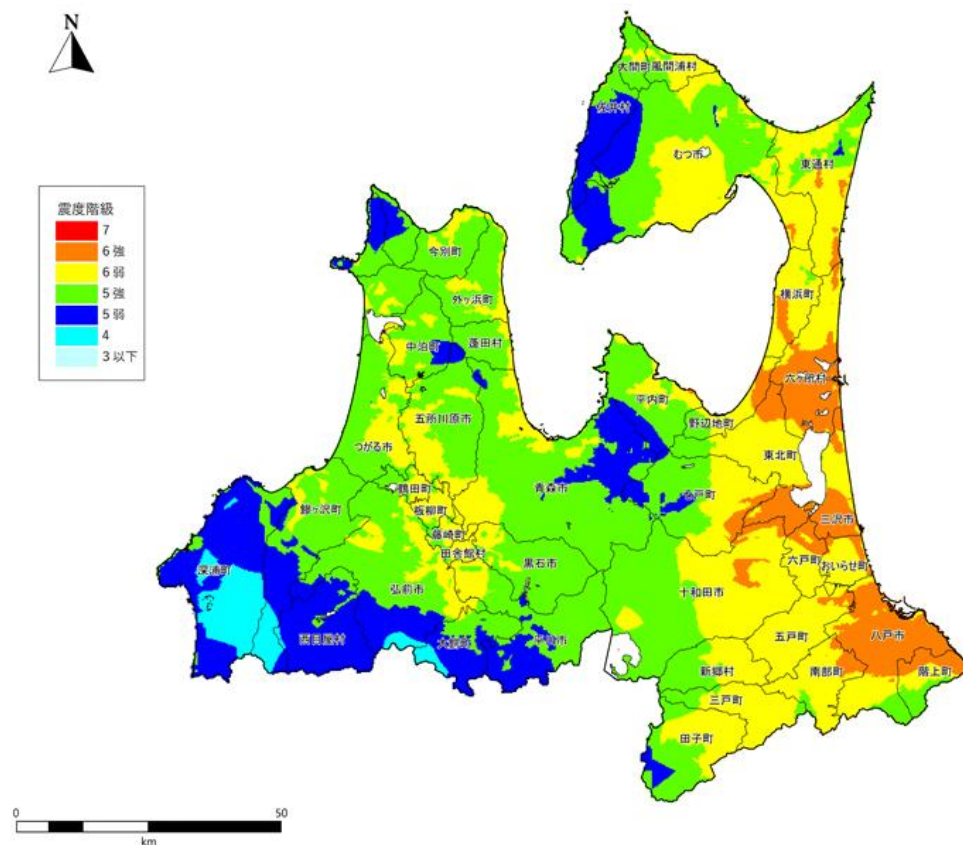
- ・ 本州の最北端に位置し、太平洋、日本海、津軽海峡と三方海に囲まれている。
- ・ 中央を縦断する奥羽山脈によって日本海側（津軽地方）と太平洋側（南部地方）で気候と地形が大きく二分される。
- ・ 東西約 1 5 5 km、南北約 1 4 0 km にわたる。
- ・ 津軽半島・下北半島など県土全体が半島地形という脆弱性。

特殊性（積雪寒冷地）

- ・ 県内全域が積雪寒冷地
- ・ 日本海側は、対馬海流の影響で太平洋側に比べ温暖だが、冬は季節風を強く受ける積雪地帯となっている。
- ・ 太平洋側では、春の終わってから夏にかけて吹くやませのため低温の日が多い。



2. 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る青森県の被害想定

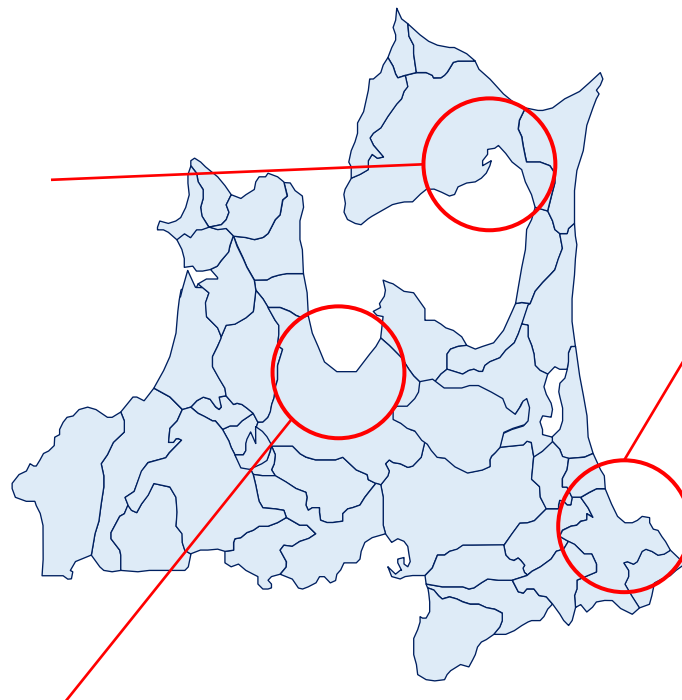
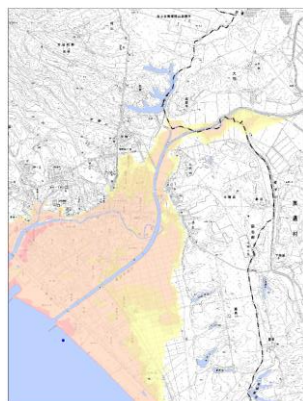


最大震度	6 強
人的被害 (冬18時)	
死者	53,000人
負傷者	15,000人
建物被害 (冬18時)	
全壊	111,000棟
半壊	86,000棟
ライフライン被害 (冬深夜)	
断水	679,000人
下水道	695,000人
避難者 (1日後)	311,000人
〔避難所内〕	205,000人
〔避難所外〕	107,000人

2. 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る青森県の被害想定

津波浸水想定

むつ市 第1波到達時間 **160分**
海岸線の最大津波高 **5.4m**

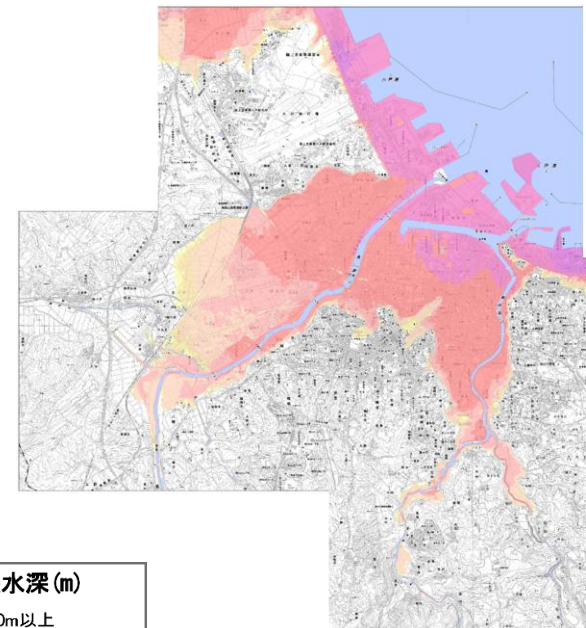


青森市

第1波到達時間 **96分**
海岸線の最大津波高 **5.4m**

八戸市

第1波到達時間 **38分**
海岸線の最大津波高 **26.1m**



2. 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る青森県の被害想定

人的被害

- ・ 県全体の合計で **5万人前後**の死者
- ・ 死者の9割以上が津波による被害となった。
- ・ 浸水域内に人口が多く、かつ**積雪により避難速度が低下**する**冬の夕方**において、**津波による被害が最大**。
※青森市や八戸市等では、企業、官公庁、ターミナル駅等、多くの人が集まる施設が存在する市街地の浸水が予測されており、これらの地域では深夜に比べて、昼や夕方の方が、仕事、通勤、用事等のため多くの人が存在することを想定している。
- ・ **揺れによる被害**（建物倒壊、屋内収容物等、急傾斜地）は、在宅している人口の多い**冬の深夜**で最大。
- ・ **火災による死者数**については、**暖房等による火災発生件数の増加**が想定される**冬の夕方**で最大。

（死者数、県全体）

要因	夏12時	冬18時	冬深夜
建物倒壊	60	30	230
うち屋内収容物移動・転倒、 屋内落下物	10	*	30
急傾斜地の崩壊	50	10	80
津波	44,000	52,000	47,000
火災	120	430	70
ブロック塀等	*	*	*
合計	44,000	53,000	47,000

「*」は、わずかな被害（5未満）

2. 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る青森県の被害想定

建物被害

- ・ 県全体で合計 **10万棟前後の全壊**。
- ・ 全壊棟数のうち、**7割程度が津波**による被害。
- ・ **屋根への積雪荷重の影響**により、揺れによる全壊棟数は、**夏のケースに比べ、冬のケースで多い**。
- ・ 揺れの強さは大きいものの、揺れによる倒壊件数は比較的少ない。（内閣府の被害率曲線を使用）
- ・ 調理や暖房のため、火気の使用の多い**冬の夕方**において、**火災による被害が増加**。

（全壊棟数、県全体）

要因	夏12時	冬18時	冬深夜
液状化	6,800	6,800	6,800
地震の揺れ	2,100	4,000	4,000
急傾斜地の崩壊	660	660	660
津波	86,000	86,000	86,000
火災	2,900	13,000	1,800
合計	98,000	111,000	99,000

2. 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る青森県の被害想定

ライフライン等

- ・発災直後の**断水人口は約68万人**と、**人口の約55%**が影響を受ける。
- ・発災直後の**停電影響人口は約97万人**と、**人口の約79%**が影響を受ける。
- ・1日後の避難者数は、**31万人（避難所内避難者20.5万人、避難所外避難者10.7万人）**。
- ・建物被害が多いこと、ライフライン復旧に時間を要することから、**避難生活の長期化が見込まれる**。
- ・直接経済被害額は、建物被害、ライフライン被害、交通施設被害の復旧に要する費用の合計である。

ライフライン被害（冬深夜、発災直後）		
上水道	断水人口	679,000人
下水道	機能支障人口	695,000人
電力	停電影響人口	974,000人
通信	不通回線数	309,000回線
都市ガス	供給停止戸数	39,000戸
避難者数（冬18時、1日後）		311,000人
直接経済被害額（冬18時）		6.3兆円

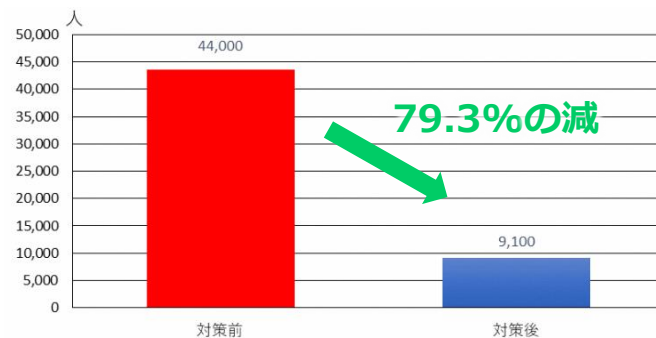
2. 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る青森県の被害想定

津波からの早期避難による減災効果

- ・地震発生後、浸水域内の全ての人が**速やかに避難を開始した場合**（直接避難100%、対策前は20%）、津波による死者数は、**県全体で約7割～8割軽減される**と予測。
- ・夏12時のケースでは、避難開始までの時間が短く、避難速度も高いため、早期避難による減少幅が大きい。
- ・冬のケースでは、防寒着着用等、避難準備に時間を要する（18時で7分間、深夜で12分間）。また、積雪の影響により避難速度が低下していることもあり、夏に比べて減少幅がやや小さい。
- ・地震発生から津波の到達までの時間が短い地域においては、減少幅が小さい傾向にある一方で、津波到達までの時間が長い地域においては、到達までのリードタイムを活かし、大幅な減少が期待できる。

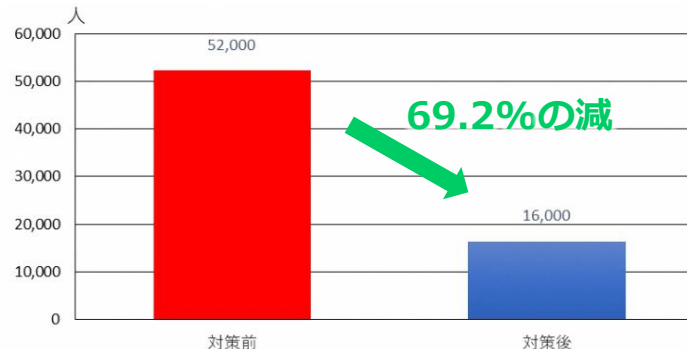
【夏12時での比較】

人的被害：津波による死者数（夏12時）	
対策前	対策後
44,000	9,100



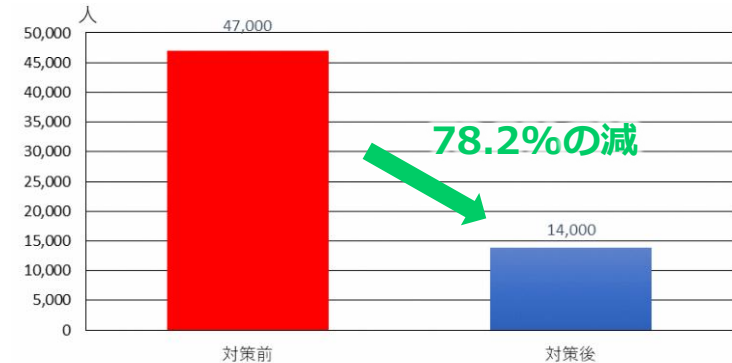
【冬18時での比較】

人的被害：津波による死者数（冬18時）	
対策前	対策後
52,000	16,000

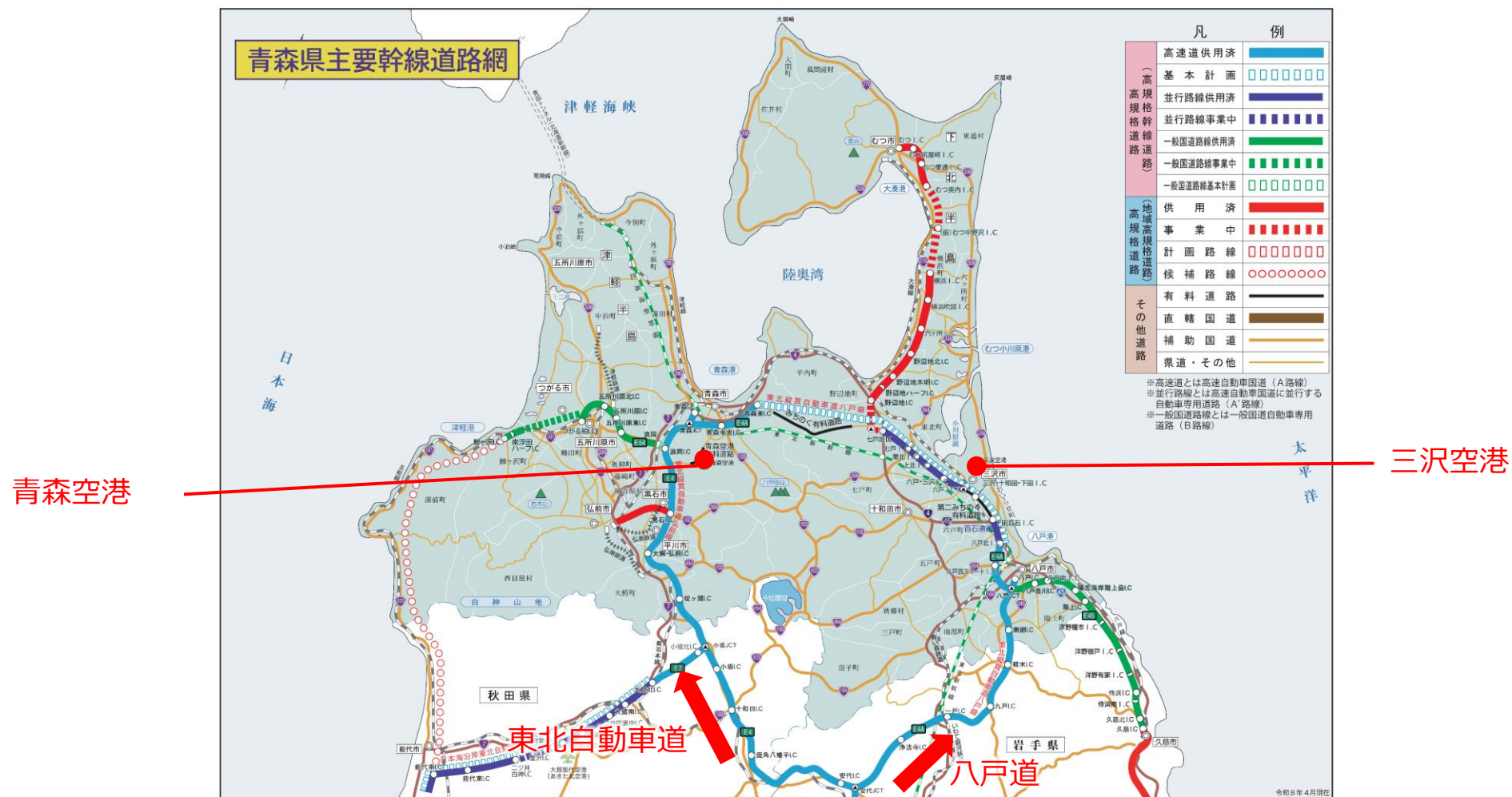


【冬深夜での比較】

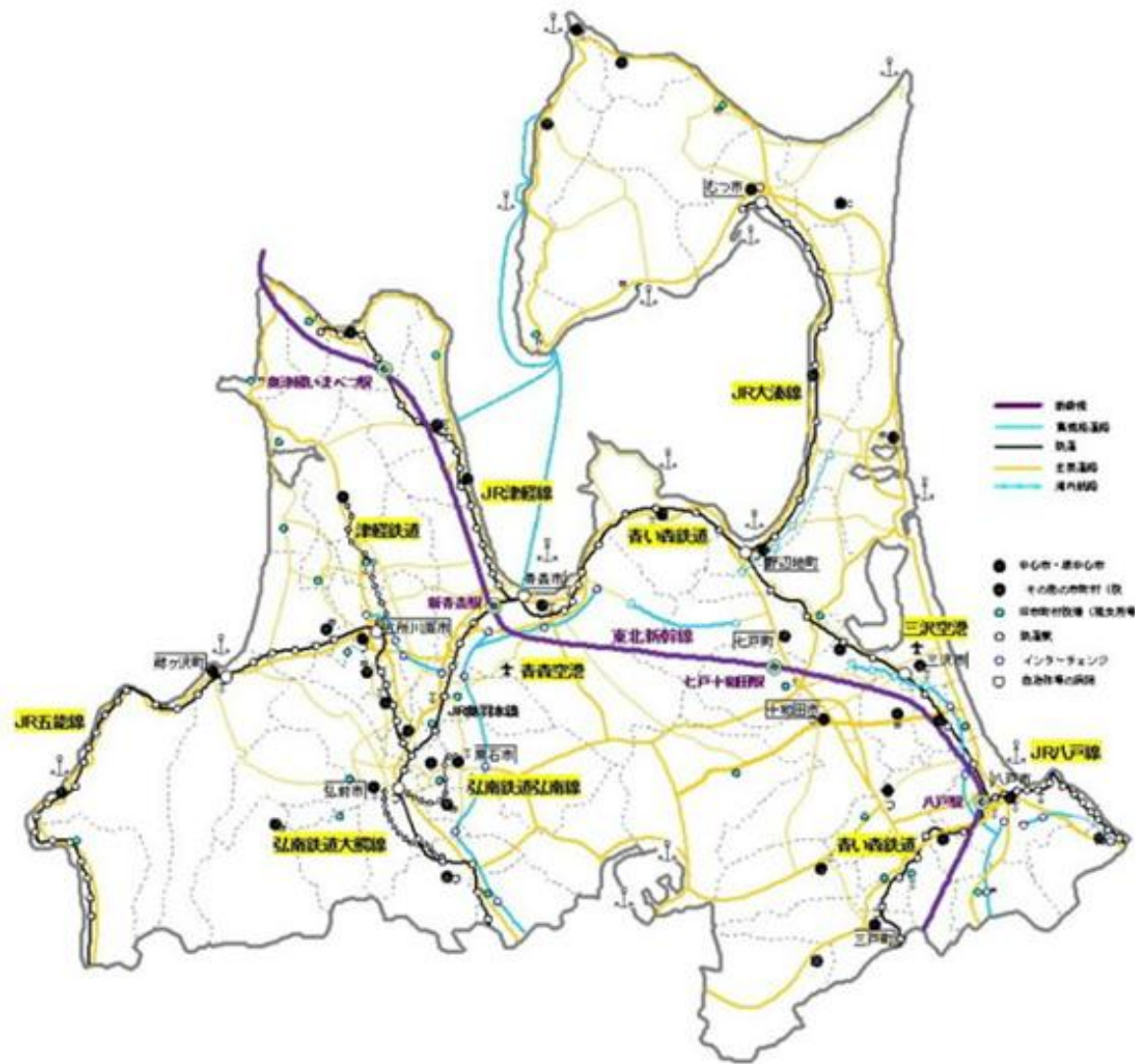
人的被害：津波による死者数（冬深夜）	
対策前	対策後
47,000	14,000



3. 主要経路等

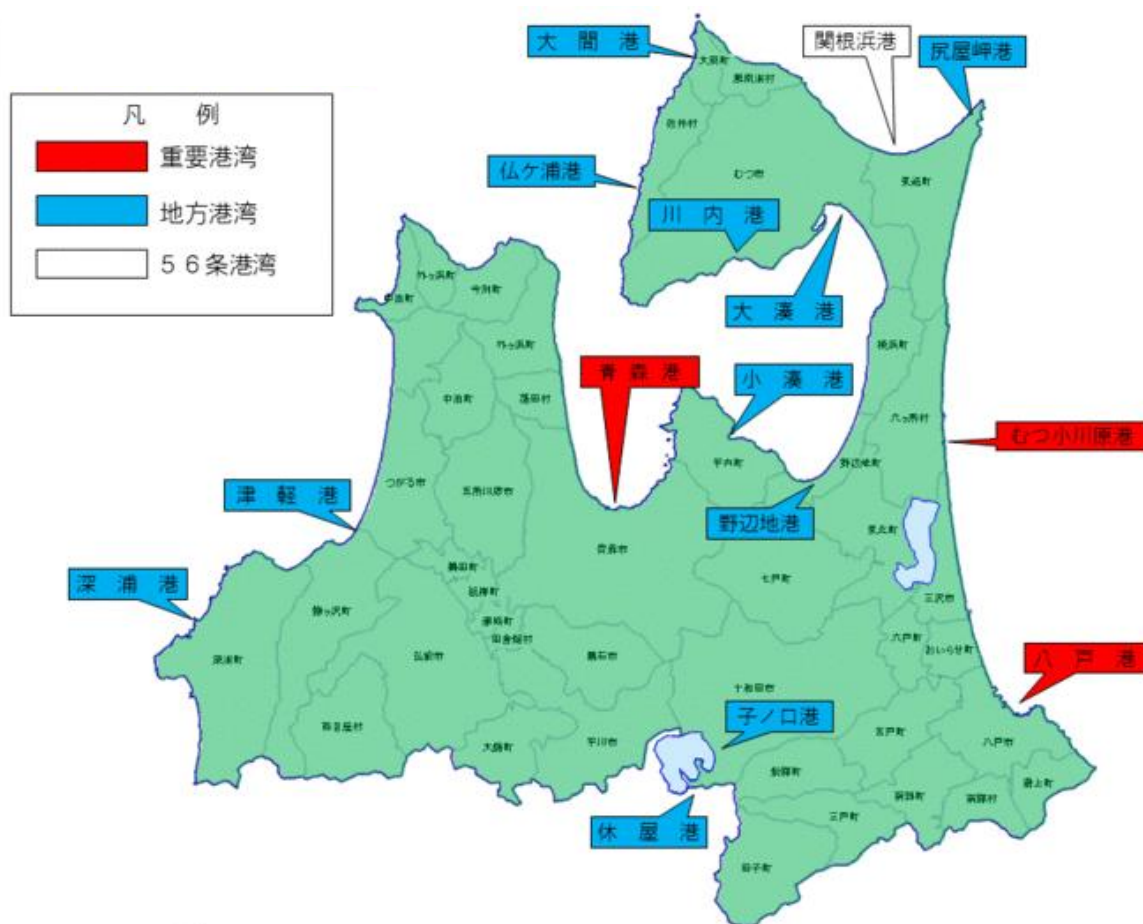


3. 主要経路等【鉄道】

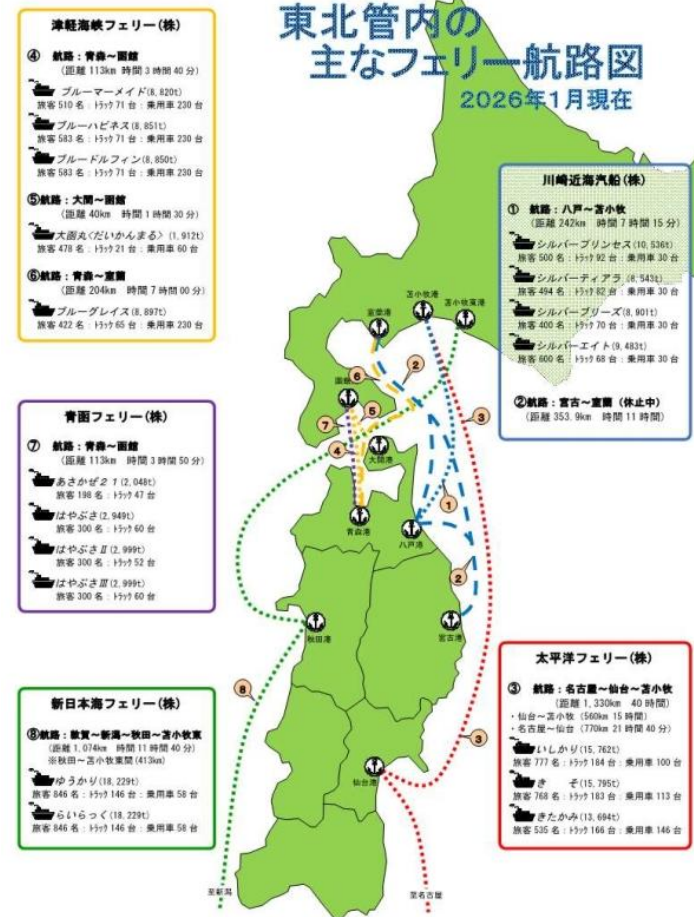


3. 主要経路等【港湾・フェリー航路】

港湾



フェリー航路



4. 青森県の実施【支援計画】

青森県災害時支援計画

第1章 総則

- 1-1 目的
- 1-2 対象範囲
- 1-3 計画の位置付け
 - (1) 県地域防災計画との関係
 - (2) 災害対策本部運営マニュアル等との関係

第2章 支援の体制

- 2-1 支援班の設置
- 2-2 支援班の組織
- 2-3 各班の役割等
 - (1) 支援の流れ
 - (2) 各班の役割

第3章 県支援職員の受入れ

- 3-1 基本方針
- 3-2 支援要請先及び手順
 - (1) 県庁職員の調整
 - (2) 他都道府県への要請

- 3-3 支援の対象業務
 - (1) 対象業務
 - (2) 収集すべき人的資源に係る情報項目
- 3-4 支援職員への配慮
 - (1) PC等の提供
 - (2) 宿泊場所の提供
 - (3) 食事等の提供
- 3-5 支援に関する費用

第4章 市町村支援職員の受入れ

- 4-1 基本方針
- 4-2 支援要請先及び手順
- 4-3 支援の対象業務
- 4-4 支援職員への配慮
- 4-5 支援に関する費用

第5章 地方公共団体以外の主体との連携

- 5-1 医療・保健・福祉分野の専門職団体
- 5-2 ボランティアとの連携
 - (1) 防災ボランティアセンター等設置前の対応
 - (2) 防災ボランティアセンターの設置及び対応

- (3) 防災ボランティア情報センターの設置及び対応
- 5-3 NPOなどのボランティア団体との連携

第6章 支援物資の受入れ

- 6-1 基本方針
- 6-2 支援要請先及び手順
 - (1) ニーズの把握
 - (2) 物資の調達・支援
 - (3) 輸送手段の確保
 - (4) 緊急輸送ルートの把握
 - (5) 支援物資に係る情報発信
- 6-3 物資拠点

第7章 その他

- 7-1 平時からの取組
- 7-2 海外からの支援に対する基本的な考え方
- 7-3 民間企業、NPO等からの義援物資の考え方
- 7-4 一般個人からの義援物資の考え方

※これまで支援の実績なし

4. 青森県の取組【津波避難タワー】

津波避難タワー設置の推進

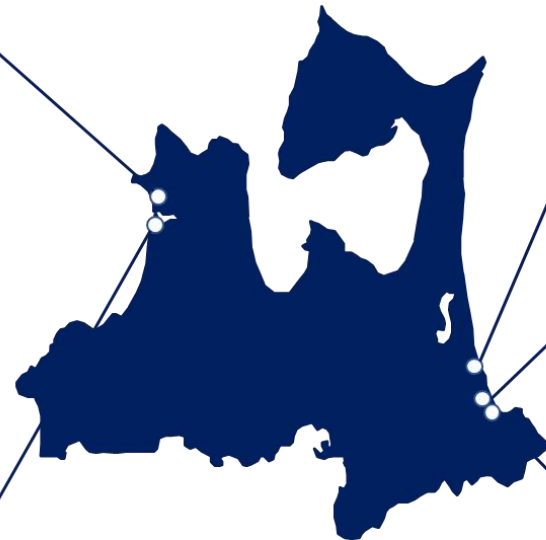
【五所川原市】

磯松地区津波避難タワー
収容人数：100人



【五所川原市】

十三地区津波避難タワー
収容人数：100人



本県の津波避難タワー等の整備状況

【おいらせ町】

明神山防災タワー
収容人数：134人



【八戸市】

多賀地区津波避難タワー
収容人数：80人



（参考）【八戸市】

※津波避難ビル
八戸市津波防災センター
収容人数：877人



R7年度

避難困難地域の把握（市町村）

津波避難タワー設計のための手引き作成

R8年度以降

津波避難対策緊急事業計画作成・津波避難施設や避難路等整備等の支援

災害備蓄の保管場所



県立学校等の県有施設



災害備蓄数量

食料	223,400食
飲料水	26,976 l
毛布	69,390枚
粉・液体ミルク	102kg
ほ乳瓶	2,080本
乳児用おむつ	4,256枚
大人用おむつ	88枚
携帯・簡易トイレ	413,960回分
トイレットペーパー	0巻
生理用品	5,160枚
防臭・消臭袋	5,400枚
ウェットシート	350,400枚
体拭きシート	310,000枚
簡易ベッド	1,750組
パーティション	3,124張
プライバシーテント	205張
暖房器具	145台

4. 青森県の実施【県災害備蓄指針】

青森県災害備蓄指針

大規模災害発生時に物資の流通が確保されるまでの間の被災者の避難生活に必要な物資の品目や備蓄量の目安を定め、県、市町村、県民、自主防災組織、事業所等における計画的な備蓄の推進に資することを目的に青森県災害備蓄指針を作成。

R7. 1見直し

【備蓄品目の見直し】

◆避難所開設時に設置されるべき資機材の整備（4→17品目）【拡充品目下線】

国によるプッシュ型支援基本8品目

- | | |
|--------------|------------|
| ○食料（水） | ○毛布 |
| ○大人用おむつ | ○乳児・小児用おむつ |
| ○生理用品 | ○トイレットペーパー |
| ○携帯トイレ・簡易トイレ | |
| ○乳児用粉・液体ミルク | |



+

能登半島地震の教訓や有識者の意見等を反映した品目

- | | |
|----------------|----------|
| ○ほ乳瓶 | ○防臭袋・消臭袋 |
| ○ウェットシート | ○体拭きシート |
| ○段ボールベッド・簡易ベッド | ○パーティション |
| ○プライバシーテント | ○暖房器具 |



【保管場所の見直し】

<効率的な配送体制>

◆拠点（民間営業倉庫等）保管

<半島部の孤立集落対策>

◆避難所（廃校・市町村有施設）保管



4. 青森県の取組【自助に関する取組】

あおもり防災条例制定

災害から県民の生命、身体等を守るため、災害時には国、県、市町村等が連携し、「公助」として被災者の救助や支援を実施しているが、**災害の規模が大きいほど、「公助」による支援が行き届くまでには時間**がかかる。自助・共助による防災の活動に取り組むことを通じて、災害に強い青森県を実現するため、青森県自助・共助による防災の取組の推進に関する条例を令和8年3月に制定。

第1条 目的
第2条 定義
第3条 基本理念
第4条 県の責務
第5条 市町村の責務
第6条 県民の責務
第7条 事業者の責務
第8条 自主防災組織等の責務
第9条 自助・共助による防災の取組の推進に関する施策

第10条 防災に関する知識等の習得
第11条 災害が発生するおそれがある場所等の確認
第12条 物資の備蓄等
第13条 従業員等の安全の確保等
第14条 建築物の倒壊等の防止
第15条 消防団の役割に関する理解等
第16条 自主防災組織等の役割に関する理解等

第17条 自主防災組織等の活動
第18条 避難の指示があった場合の安全の確保のための措置等
第19条 避難所の運営等
第20条 あおもり防災ウィーク
第21条 支援
第22条 財政上の措置



あおもり防災ウィークの実施

令和8年10月29日（木）から11月12日（木）までを県下一斉の防災啓発期間として、「あおもり防災ウィーク」を設定。

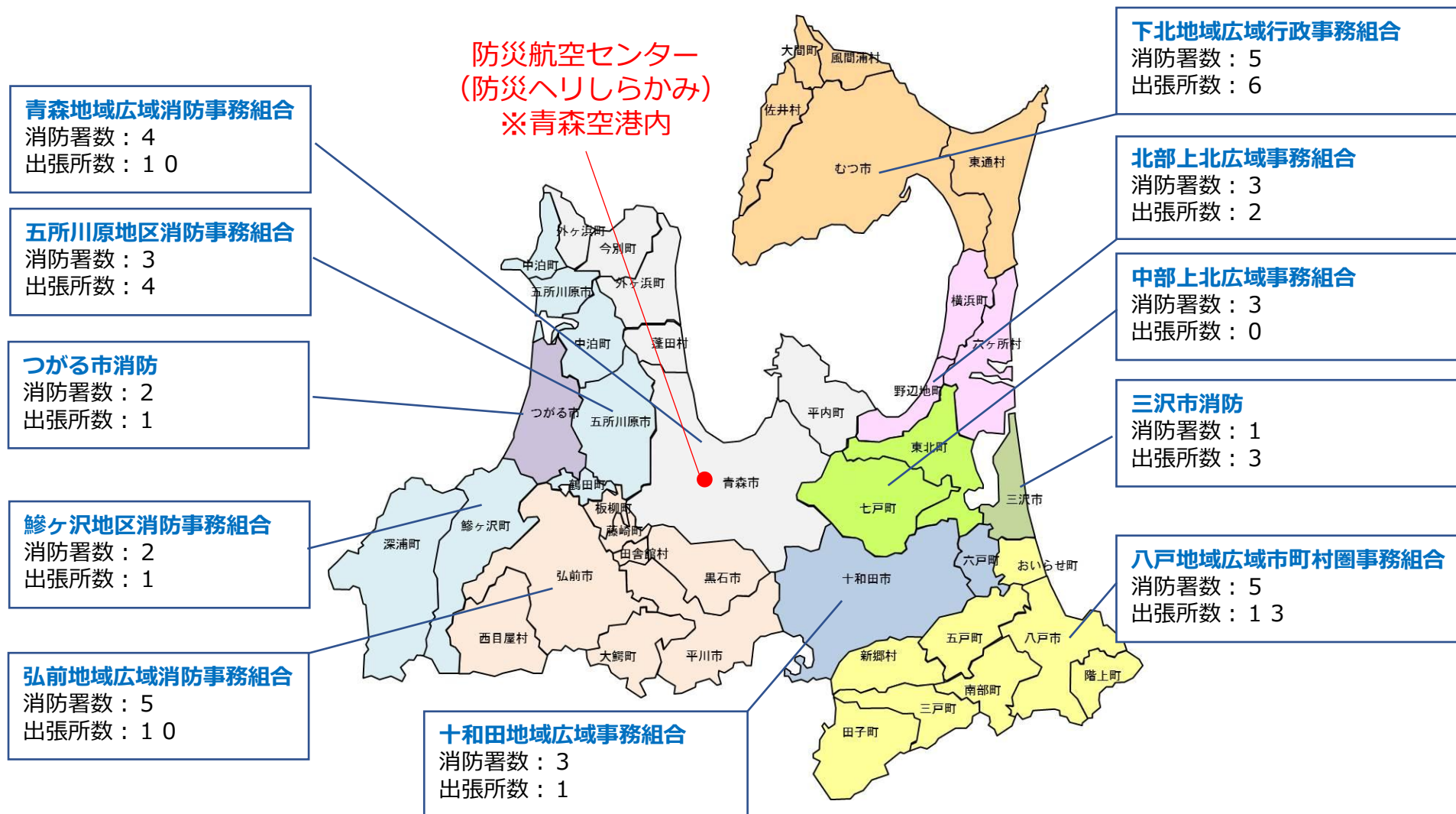
1 あおもり防災チャレンジ

県全体の防災意識の高揚を図るため、あおもり防災ウィーク期間中に各家庭や学校、企業等で訓練や防災に関する取組にチャレンジすることを促進。

2 シンポジウム開催

条例制定を契機に、県民が自助・共助を考えるためのシンポジウムを「あおもり防災ウィーク」期間内に開催。
知事や防災に関心のある著名人等によるパネルディスカッションなどの企画を実施。

5. 青森県の防災上の特徴【消防機関の状況】



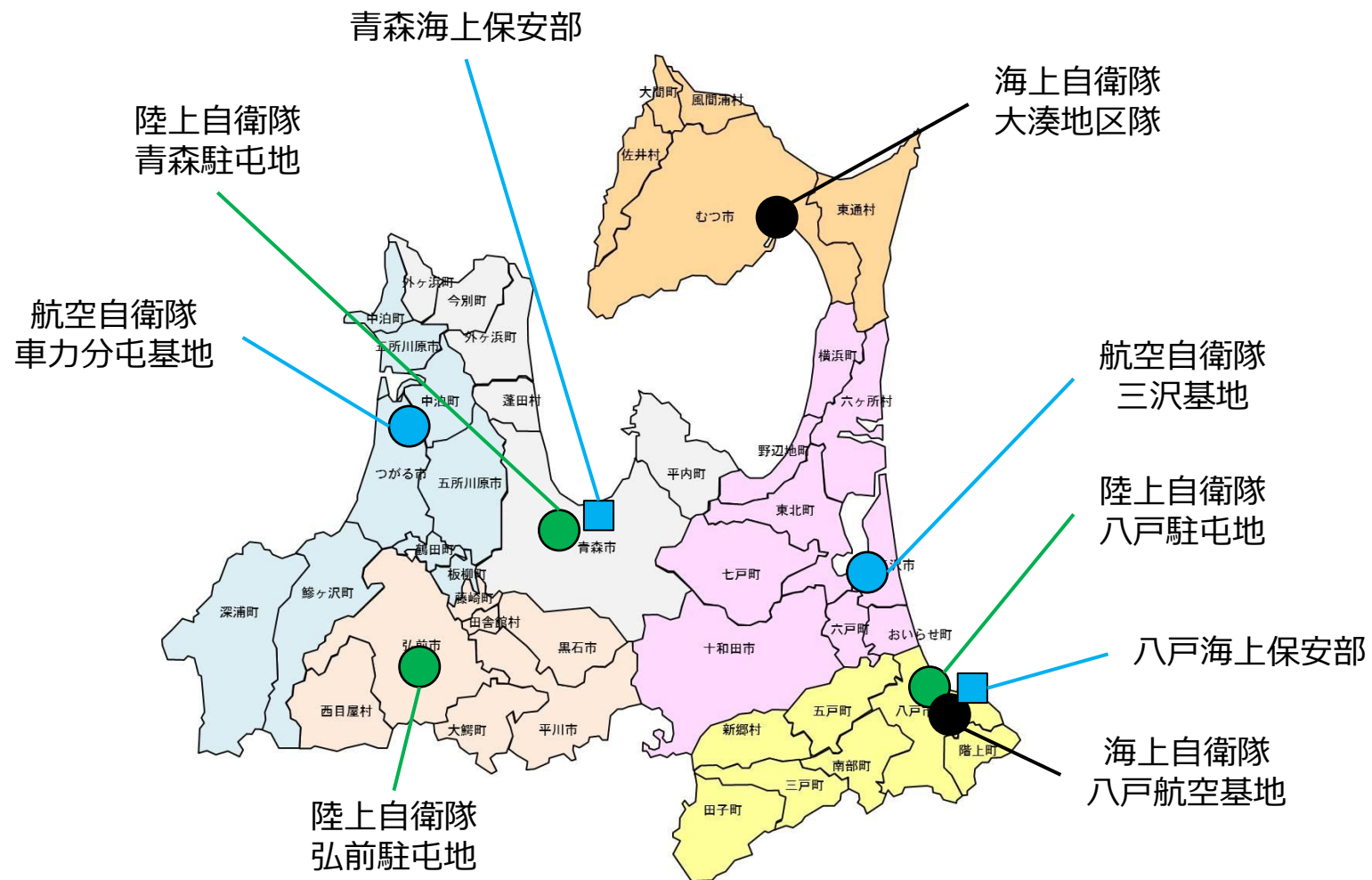
5. 青森県の防災上の特徴【防災関係機関の状況】

自衛隊

陸上自衛隊
青森駐屯地
八戸駐屯地
弘前駐屯地
海上自衛隊
大湊地区隊
八戸航空基地
航空自衛隊
三沢基地隊
車力分屯基地

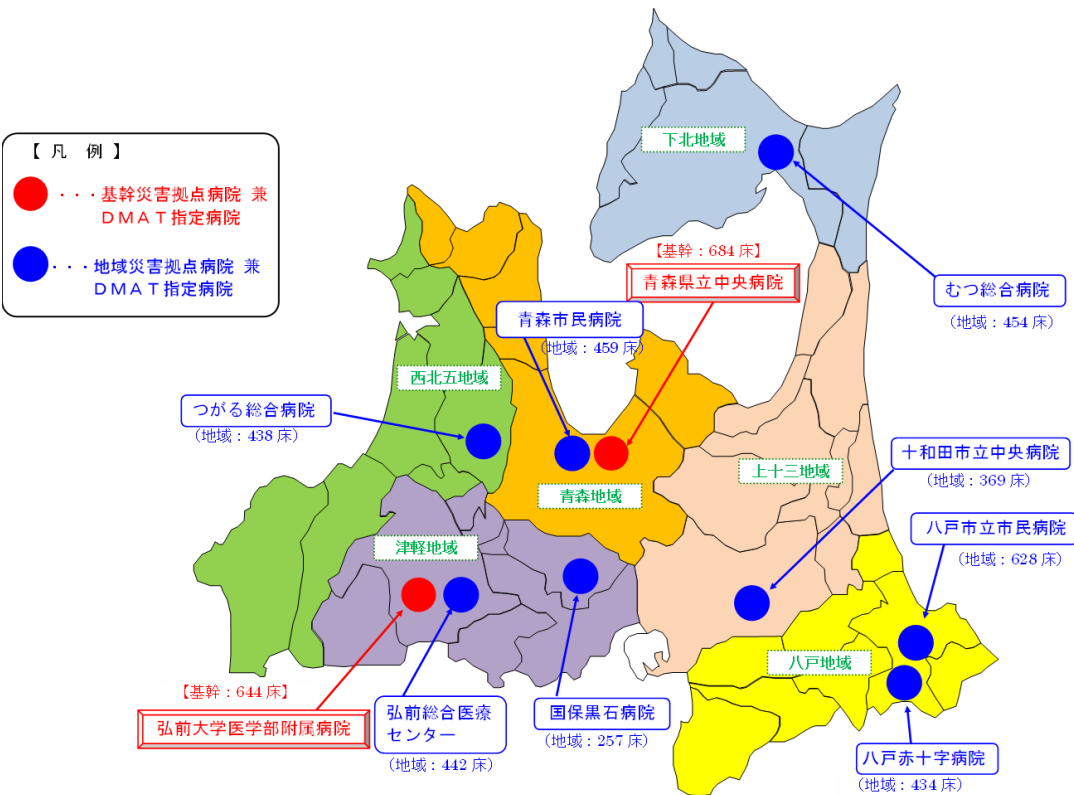
海上保安部

青森海上保安部
八戸海上保安部

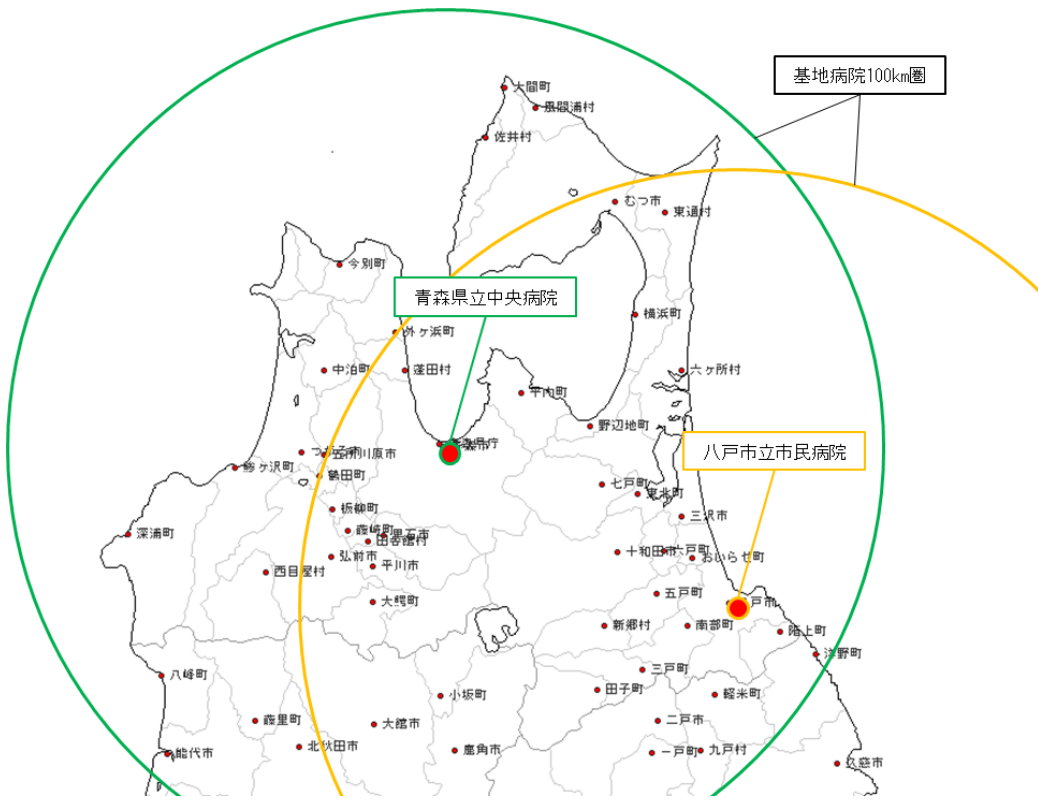


5. 青森県の防災上の特徴【災害拠点病院等】

災害拠点病院配置状況



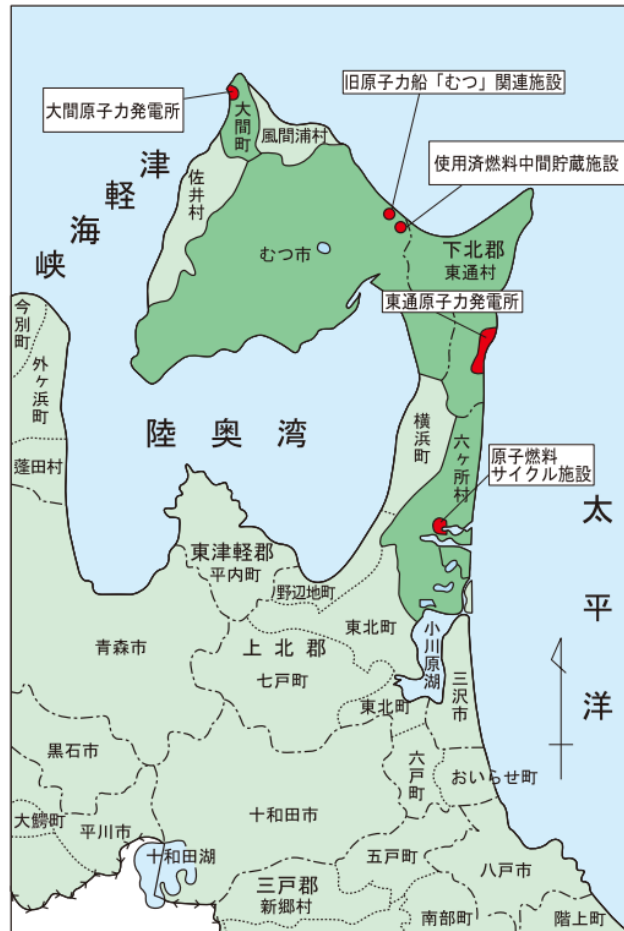
ドクターヘリ基地病院配置状況



区分	医療機関名
ドクターヘリ基地病院	青森県立中央病院 八戸市立市民病院

5. 青森県の防災上の特徴【原子力施設・石油コンビナート】

原子力施設



石油コンビナート地区

